



桑の緑

小坂小学校 学校便り

令和4年3月4日
文責：校長 江上 知男

6年生の「卒業プロジェクト」が始まりました！



運動場フェンスの掃除

よく「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」と言いますが、本当にその言葉どおりだと感じます。3月23日の卒業式まで、約3週間となりました。いよいよカウントダウンが始まった感じです。…私は毎年経験しているにも関わらず、6年生が卒業してしまうことを想像すると寂しくて仕方ありません。子どもたちにとっては「希望の春」なのですが…。

学校では「6年生全員揃っての卒業式を迎えたい！」が、職員の合言葉になっています。そのため

には、徹底したコロナ感染予防と体調管理が必要です。「6年生の自覚」にもかかっています。

さて、6年生は、「卒業プロジェクト」を計画して取り組んでいます。具体的には、「卒業文集」「卒業式の歌や呼びかけ」の他、「校舎内外の掃除」「プリント配付棚の制作」「古くなった校区地図の刷新」「靴箱天板の修理」だそうです。6年生に心から感謝します。

このようなプロジェクトを行う目的は様々考えられますが、子どもたちが「主体的に計画して実行すること」はとても素晴らしいとだと思えますし、「学校を愛おしく思う心」を是非下級生に引き継いで欲しいと思います。何より、このようなことを一生懸命取り組める子どもたちの姿こそ、「小学校を卒業できるレベルに到達した」と言えるのだと感じます。

「たこあげ」「こままわし」は楽しい！

1年生の生活科に「冬を楽しもう」という単元があります。1年生はその学習の中で「たこ」や「こま」を制作し、運動場で遊んでいます。その姿は「昭和の時代に戻った」ような、何とも懐かしい感じがして、私も思わず1年生に混ぜてもらいました。

特にこままわしは難しいので、「よし、『できるところ』見せてやる！」と思い子どもに貸してもらったのですが、…なんと、回りません(汗)。すると、子どもたちが集まってきて「ひもの巻き方」「投げ方」などを、説明書を見ながら口々に教えてくれました。何度かチャレンジしてやっと回せるようになったところ、子どもたちは大喜び！。その姿を見ながら、担任の丹生先生も私も大喜びでした。久し振りに「できないことができるようになる楽しさ」を味わえた気がしました。そして、1年生が持つやさしさに触れることができたことに、心が温かくなりました。



天まで上がれ！

熊本県は「まん延防止等重点措置」の延長です！

報道等がなされていますが、新型コロナに関する「まん延防止措置」について、県は3月21日まで延長となりました。延長の理由として、県内の新規感染者数や病床使用率が下げ止まっていることなどが挙げられています。九州では唯一の延長であり、厳しい判断だと思えます。

本校においても、予断を許さない状況が続いており、毎日が「綱渡り状態」です。学校としては、「学校でクラスターを出さないこと」「6年生が全員揃って卒業式を迎えること」が最大の目標です。そのことを達成するため、「マスク着用の徹底」「3密防止の徹底」「黙食の徹底」等に取り組んでいます。保護者の皆さまには、現状を理解いただき、「家庭での感染防止」「休日における不要不急の外出防止」等へのご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。